

第 82 回国民スポーツ大会・第 27 回全国障害者スポーツ大会
 宿泊施設実態調査結果について（概要）

1 調査目的

- (1) 第 82 回国民スポーツ大会・第 27 回全国障害者スポーツ大会（以下「国スポ・全障スポ」という。）参加者の宿舎確保に向けて、県内の営業宿泊施設の実態を把握し、円滑な配宿を実施するための基礎資料とする。
- (2) 宿泊施設に対して 5 年後の国スポ・全障スポ開催を周知し、客室提供の協力を依頼する。

2 調査内容

- (1) 施設区分、各種設備、会議室や食事提供の有無、宿泊料金、客室の形式及び客室数 等
- (2) 国スポ・全障スポ期間の客室提供の意向（国スポ本大会については提供可能客室数及び収容人数）

3 調査期間

令和 5 年 8 月～9 月

4 調査結果の概要

(1) 調査施設数及び回答施設数

調査対象施設数	回答施設数	回答率
3, 172 施設	928 施設 （所有客室数 19, 890 室 最大収容可能人数 57, 211 人）	29. 3%

(2) 各競技会場地市町村における国スポ・全障スポ客室提供意向施設の概要及び宿泊者数（想定）との比較

	国スポ 提供可能施設	国スポ冬季大会 提供可能施設	全障スポ 提供可能施設
競技会場地市町村数	28 市町	4 市町村	9 市
施設数	355 施設	81 施設 ^{※2}	103 施設 ^{※2}
最大収容可能人数	22, 674 人	5, 430 人	8, 791 人
提供可能人数(A)	14, 205 人	2, 808 人 ^{※3}	3, 683 人 ^{※3}
宿泊者数(想定)(B) ^{※1}	14, 065 人	2, 309 人	6, 442 人
過不足(A-B)	140 人	499 人	▲2, 759 人
充足率(A/B)	101. 0%	121. 6%	57. 2%

※1 先催県の 1 日当たりの最大宿泊者数とした（国スポ・全障スポ：R5 鹿児島国体宿泊申込人数（速報値）、国スポ冬季大会：R2 とやま なんと国体 2020（スキー競技会）配宿実績）

※2 「提供できる（客室の半分以上）」、「一部なら提供できる（客室の半分以下）」と回答した施設の合計

※3 「提供できる」と回答した施設は総収容人数の 75%で計上、「一部なら提供できる」と回答した施設は総収容人数の 25%で計上、「分からない」と回答した施設は提供意向なしとした

5 課題と今後の取組み

- 国スポ（冬季大会含む）においては充足していることとなるが、19 市の中でも施設数に大きな乖離がある、会場地市町村によっては提供意向施設が無いというところがある等、市町村によって状況が大きく異なること、また、今後決定される競技会の開催日程や都道府県別、競技別、男女別など配宿への考慮が求められていることから、全障スポ分も含めて更なる宿舎の確保が必要と考えられる。
- 国スポ・全障スポ開催まで、まだ 5 年あることから、提供未定、不明等の回答も多くあったため、両大会開催の周知や更なる協力依頼、宿泊施設の掘り起こしが必要である。
- 今回の調査結果を基に、会場地市町村において各競技の選手・監督、役員等をどの宿泊施設にどのように配宿するか配宿シミュレーション（第 1 次仮配宿）を行う予定であり、これにより、配宿業務の課題を整理し、公共施設の転用や広域配宿等、宿舎の充足対策を検討する。